

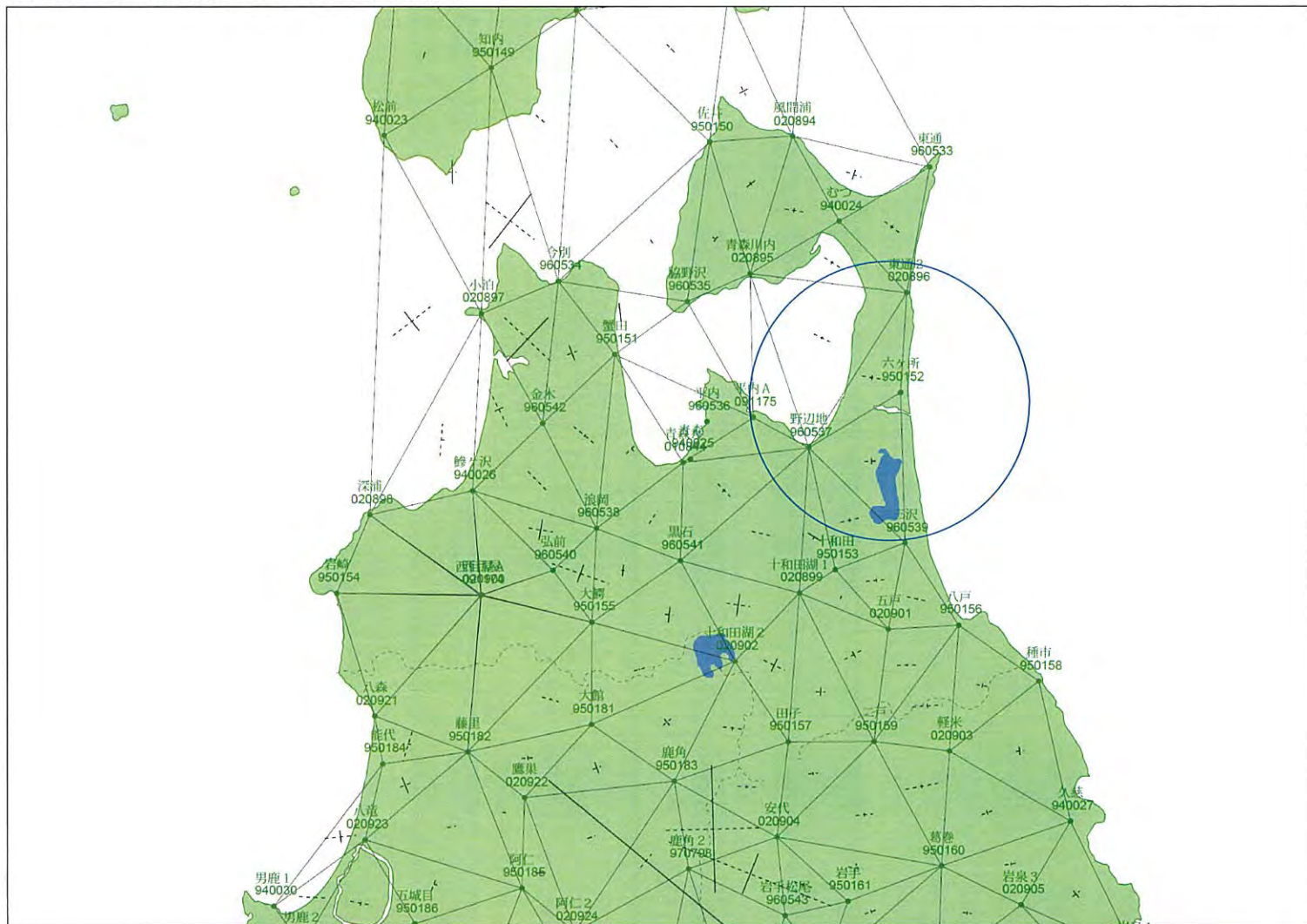
## 国土地理院「日々の座標値 (F3)」データに基づく最大せん断ひずみ

東北地方太平洋沖地震前約2年半の最大せん断ひずみ図 (平成20年7月上旬~平成23年3月上旬)

○ 敷地周辺の最大せん断ひずみから、概ね東西方向に圧縮している傾向が確認できる。

基準値: 2008年7月1日00時00分 ~ 2008年7月10日23時59分 (平均)  
 比較値: 2011年3月1日00時00分 ~ 2011年3月10日23時59分 (平均)

この基準値 (又は、この比較値) は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 G3-No. 9、10 電子基準点日々の座標値 (F3) 期間 (1996. 3. 21~2010. 3. 31) を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第138号 平成23年7月29日)



Extension  
 $1.00 \times 10^{-6}$   
 Contraction  
 $1.00 \times 10^{-6}$   
 -----

○ 敷地を中心とする  
 半径 30km 範囲

解析ソフト: Bemese  
 暦 : IGS

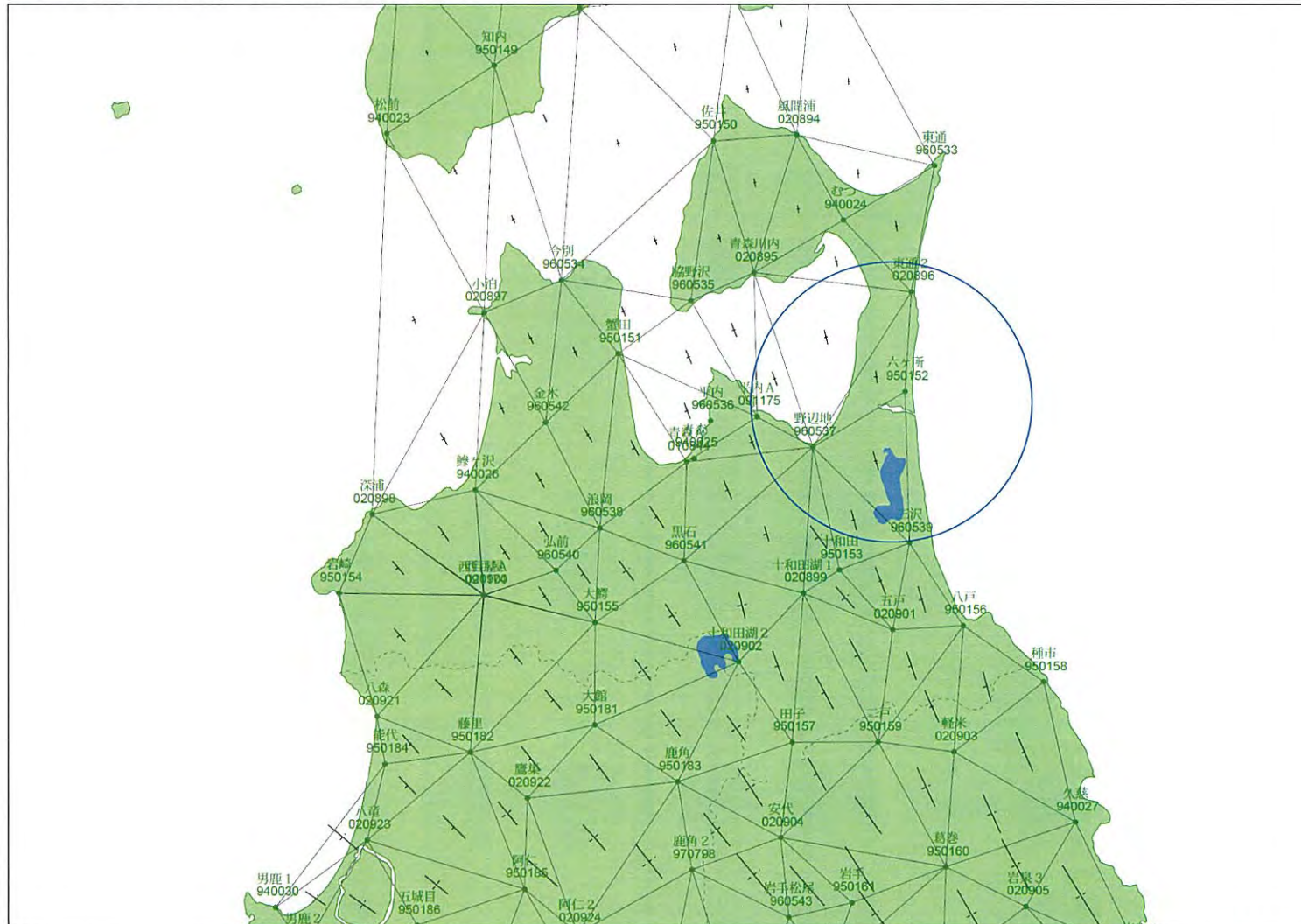
「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」

## 国土地理院「日々の座標値(F3)」データに基づく最大せん断ひずみ

### 東北地方太平洋沖地震前後の最大せん断ひずみ図

○ 東北地方太平洋沖地震に伴う最大せん断ひずみから、敷地周辺では概ね北北西-南南東方向に引っ張られていることが確認できる。

基準値: 2011年3月11日00時00分～2011年3月10日23時59分(平均)  
 比較値: 2011年3月12日00時00分～2011年3月21日23時59分(平均)



「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」

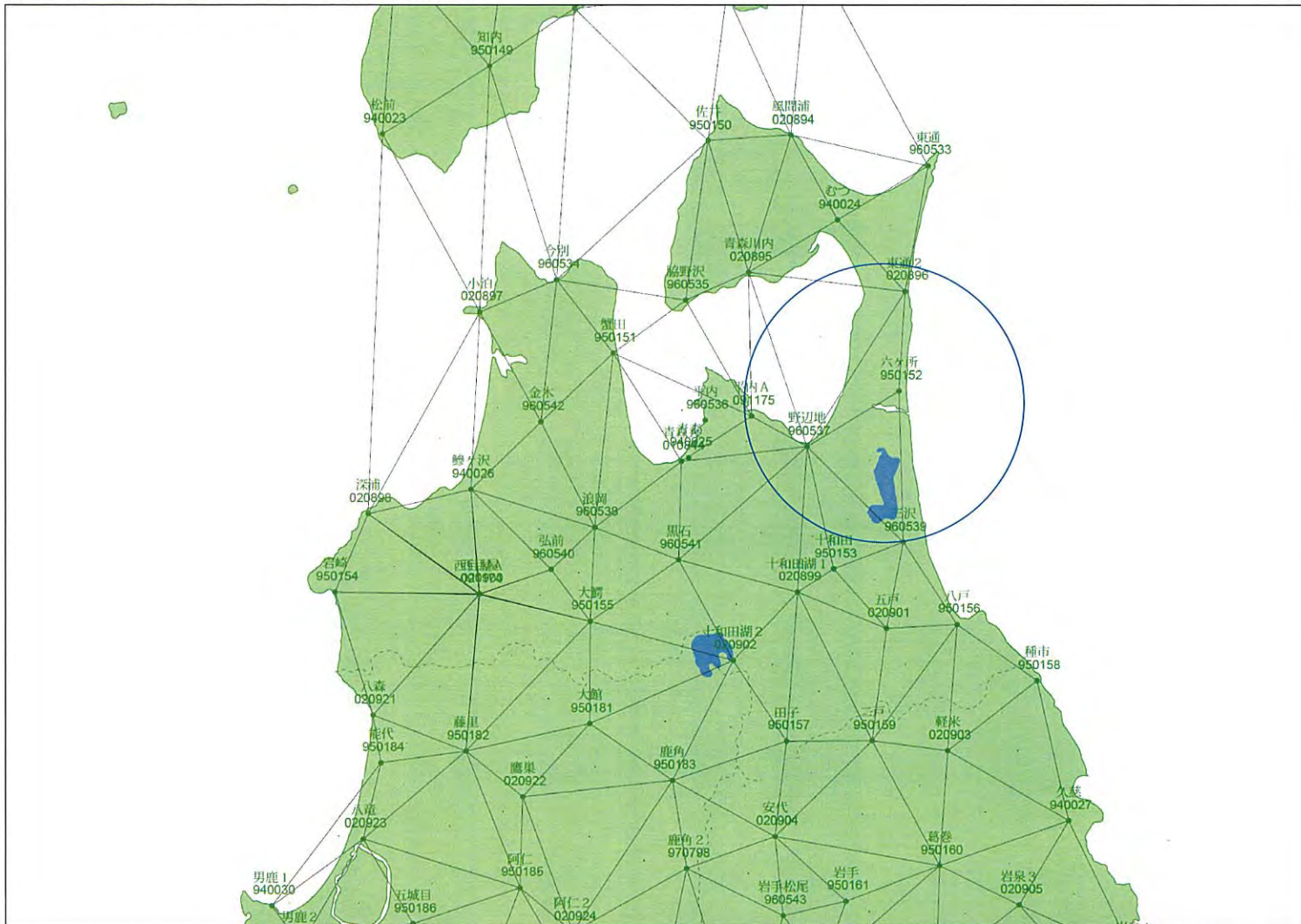


### 国土地理院「日々の座標値 (F3)」データに基づく最大せん断ひずみ

4月7日に発生した宮城県沖の地震前後の最大せん断ひずみ図 (平成23年3月下旬~4月中旬)

○ 敷地周辺において、ほとんど変化は認められない

基準値: 2011年3月28日00時00分~2011年4月6日23時59分(平均)  
 比較値: 2011年4月8日00時00分~2011年4月17日23時59分(平均)



Extension  
 $1.00 \times 10^{-6}$   
 -  
 Contraction  
 $1.00 \times 10^{-6}$   
 -

○ 敷地を中心とする  
 半径30km範囲

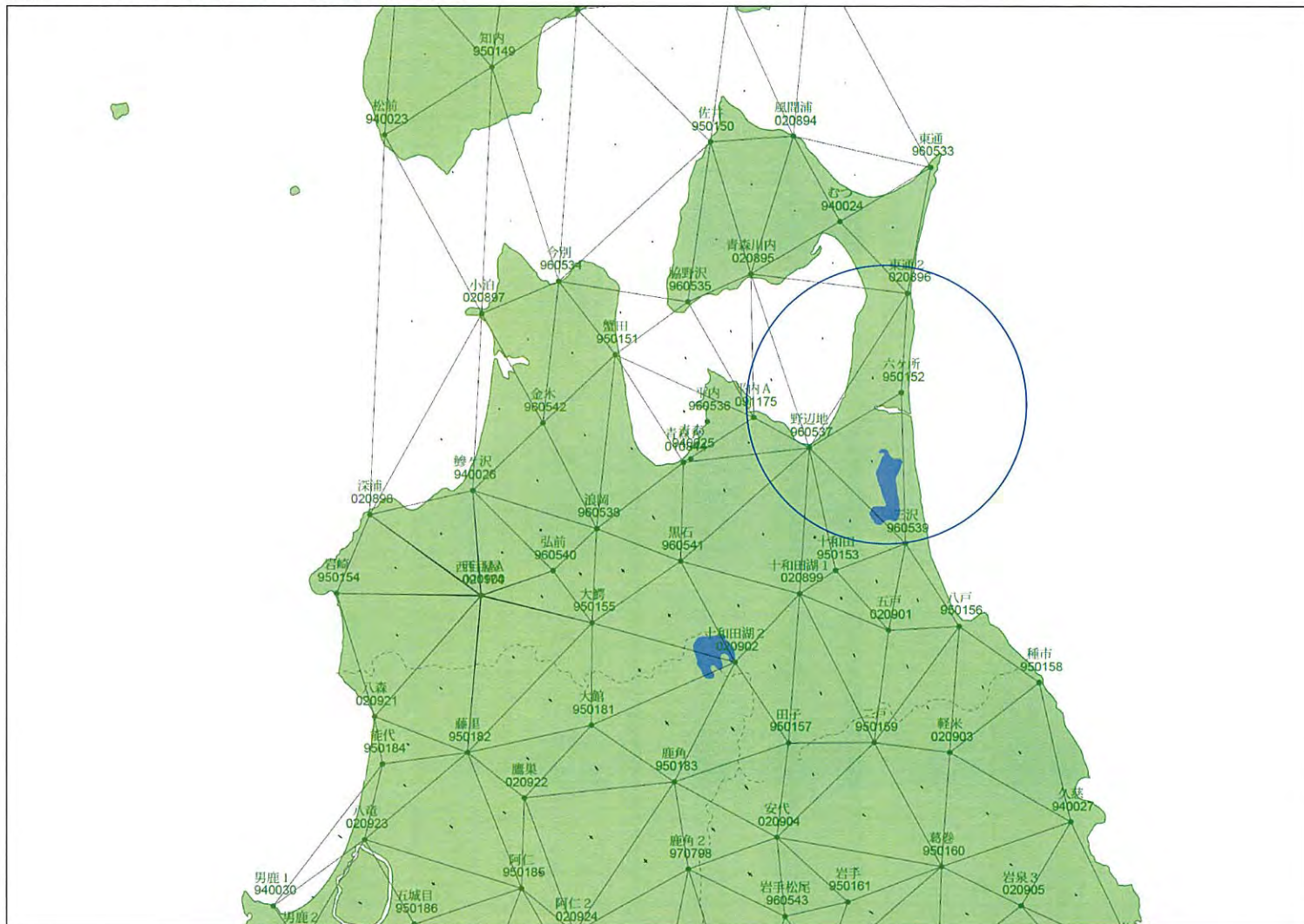
「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」

## 国土地理院「日々の座標値 (F3)」データに基づく最大せん断ひずみ

東北地方太平洋沖地震後3ヶ月間の最大せん断ひずみ図 (平成23年4月中旬～7月中旬)

○ 敷地周辺の最大せん断ひずみから、概ね南北方向に引っ張られていることが確認できる。

基準値: 2011年4月8日00時00分～2011年4月17日23時59分(平均)  
比較値: 2011年7月8日00時00分～2011年7月17日23時59分(平均)



Extension  
1.00 x 10<sup>-6</sup>  
-  
Contraction  
1.00 x 10<sup>-6</sup>  
-

○ 敷地を中心とする  
半径30km範囲

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」